



松崎小学校5年生 林業体験（3月4日）

3月4日、丸高TT株式会社の皆さんを講師に迎え、松崎小学校5年生を対象とした林業体験が松崎小学校体育館で行われました。参加した小学生は、チェーンソー体験など、普段経験できない貴重な体験をしました。

令和7年度 町長施政方針



町長施政方針（要旨）

令和7年 第1回松崎町議会定例会の開会にあたり、町政運営に関する所信の一端を申し上げます。

はじめに、昨年を振り返りますと、令和6年1月1

日の能登半島地震や8月の日向灘を震源とする地震の発生に伴う南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）、また、再び被災地を襲った9月の能登豪雨など、大規模な自然災害が頻発している状況

であります。こうした相次ぐ災害に対し、改めて日々の備えの重要性を再認識したところであります。

また、国内全般にはコロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつあるものの、伊豆半島南部地域はコロナ禍前の状況には戻りきれておらず、観光を主産業とする当町にとっては、厳しい状況が続いています。また、長引く物価高騰、加速する人口減少・少子高齢化など地方を取り巻く環境は、さらに厳しさを増す状況となりました。

一方で、今年に入りまして、松崎町の観光大使である白石康次郎氏が、単独無寄港無補給で世界を一周するヨットレース「ヴァンデ・グローブ」を9日21時間34分41秒、総合順位24位で完走しました。このように世

界的に有名になった白石康次郎さんですが、今でも松崎町の人々との縁があったことを話してくれており、これからも人との縁を大切にしていきたいと感じました。また、何度失敗しても何度もうチャレンジしていくことへの勇気をもらいました。

また、オリンピック金メダリストの松本薫さんの講演では、現役時代のモチベーションは両親を世界に連れて行くことだったという「自分のためだけに戦うのには限界がある、両親のためと思うことで柱ができた」と語っており、私も、町のため、住民のために何ができるか、改めて、まちづくり、人づくりをより一層大切に、深く考えるきっかけとなりました。

さて、政府は「わが国経済の景気は一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が期待される」としています。また、予算編成の基本方針

では、足元の物価高、賃金や調達価格の上昇に対応しつつ、デフレを脱却し、新たなステージとなる「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を実現することを目指して、物価上昇を上回る賃上げ上昇の普及・定着、地方創生2・0の起動、官民連携による投資の拡大、防災・減災および国土強靱化、充実した少子化・子ども政策の着実な実施など、重要政策課題に必要な予算措置を講ずることによって、メリハリの効いた予算編成を行うとしています。

松崎町におきましても、私が町長に就任してから、富士宮市や青森県今別町、企業や大学との連携協定などの締結による防災強化・関係人口の拡大や東海汽船の東京直行便運航、河津町との桜連携、また、来月には駿河湾フェリーの新発着場となる河岸の市との連携などによる観光振興、学び合い講座の開催や地域活性化企業人の受け入れによる人材育成・人づくり

などに努めてきました。今後もうこうした国の動向に注視しつつ、時代の流れを的確に捉えるための情報収集や前例にとらわれない独自の取り組みを進めていきたいと考えています。

だれ一人取り残さない、 支え合いのまちづくり

令和6年度に改定された国・県の防災計画に合わせるため、松崎町の地域防災計画の改定事業の実施や防災行政無線の機器更新事業、旧中川小学校の利活用に向けた改修計画、耐震計画を行う町有施設改修事業を行い、危機管理体制の強化を図ります。また、社会福祉協議会の補助金を増額して職員体制を強化し、地域福祉の充実を図ります。

だれもが夢を育み、 現できるまちづくり

下田市にある産婦人科医院が1月末で出産業務を終了したため、妊婦健康診査交通費等支援金を創設し、子育て支援の充実を図ります。また、小中

学校児童生徒に1人1台のタブレット端末を更新するGIGA第2期小中学校情報機器購入事業や令和6年度より進めている新共同調理場の9月開始に向け厨房機器などを購入し、安心安全な給食を提供することにより学校教育の充実を図ります。

地域に根付いた産業が 育まれ、経済がにぎわ うまちづくり

伊豆まつぎ荘をはじめ、町営観光施設の改善に向けた支援業務として町有施設民間活力導入事業の実施や松崎新港を活用した観光振興を検証するため「海釣りGO!」のトライアルイベントを実施し、観光の振興を図ります。また、プレミアム商品券事業や商工会への補助金を増額し、商工業の振興を図ります。

豊かな社会・自然環境 を次世代へつなぐ、持 続可能なまちづくり

伏倉橋、入谷橋の補修事業や町道などの整備を実

施し道路交通網の整備を図ります。また、松崎港に飛鳥IIが寄港することに伴い歓迎式典を開催し、新たな海上交通の整備を進めます。

コンパッションを共有 し、ぎょうどうで 進めるまちづくり

基幹系システムの標準化・共通化を図りスマート自治体・デジタル化を推進します。また、西伊豆町と共同で一部事務組合による新斎場整備事業を実施し、広域行政の推進を図ります。静岡県で一番財政規模が小さく、財政的にも人材的にも大変厳しい中で、今まで先送りされてきた事業に着手し、人材育成にも重点を置きながらしっかりと未来を見据えた投資を行っていきます。

当町における財政状況は、これまで将来負担を見据えた財政運営を行ってきた結果、公債費の増大が抑制されていますが、令和6年度には今まで先送りされてきた共同調理場や斎場整備などに着手し、今後も広域ご

み処理施設や津波避難タワーなど大型事業の計画もあることから、補助財源や起債なども有効に活用し、財政調整基金の残高にも十分注意しながら、町民の皆さまの暮らしや経済、安全を支える事業を実施していきたいと考えています。

また、人口減少や少子高齢化の進展、頻発する自然災害への対応や公共施設などの老朽化対策など多くの課題がありますが、総合計画を元に優先順位を付け、限られた財源を有効かつ効果的に活用するなど、今後も財政の健全性に最大限配慮し、事業執行に取り組んでいきます。

結びに、第6次総合計画において「ここでは、誇り高く、穏やかに、豊かに生きられるコンパッションタウン松崎」を目標として掲げました。「目の前で困っている人がいたら手を差し伸べる」、田舎では今までも当たり前のようにならなってきた「地域での支え合い」をもう一度押し出して地域づくりを進めていき

たいと考えています。充実した時間を過ごせる地域というのが、幸せな地域であると思います。足りないものをお互いに補完し合い、分かち合いのできる人づくり、地域づくりをすることによって「誇り高く豊かに生きられる」町になるのではないかと考えています。

これからも、まちのつながり役のための学び合い講座などを行い、町の良さを地元の方にしっかりと認識してもらい、人とのつながりや地域の大切な歴史・文化をしっかりと伝えながら、わが松崎町を元気にしていくための「心の豊かさ」を肝に据え、VUCA時代の不安定で不確実な社会に対応しつつ、町政を進めていく所存です。

今後とも、議員の皆さま、そして町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。令和7年度の施政方針とさせていただきます。

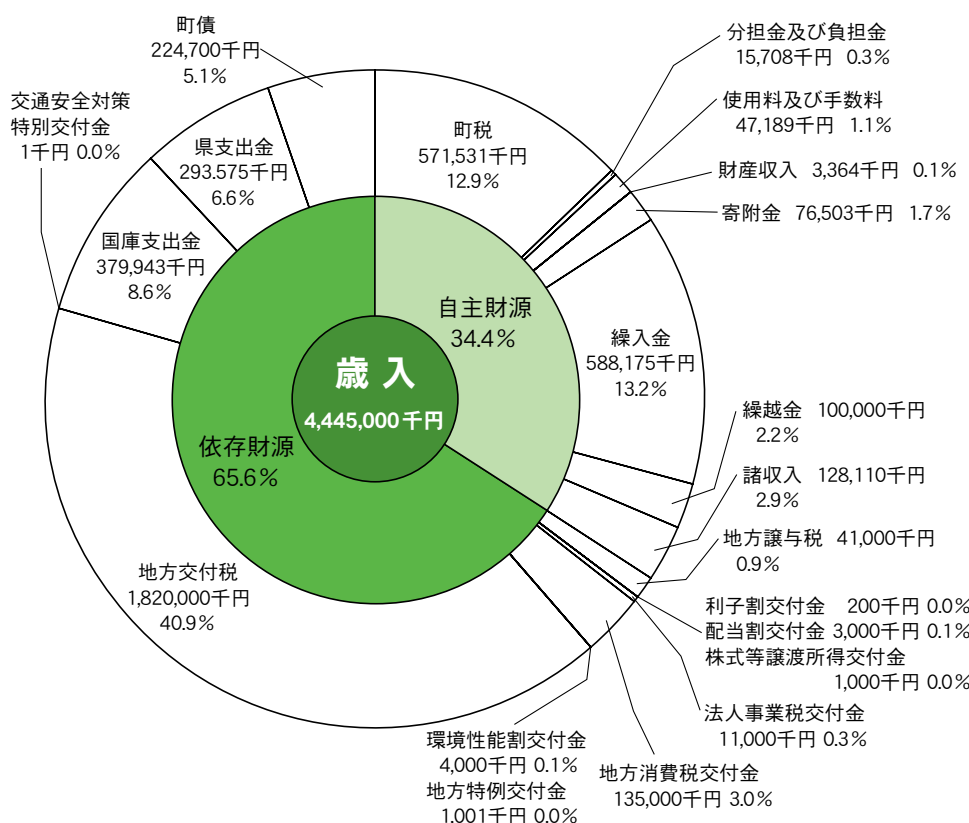
【問合せ】

総務課（42） 3963

将来像「ここでは、誇り高く、穏やかに、豊かに
生きられる『コンパクトシティ松崎』」に
向けたまちづくり

令和7年度

一般会計当初予算



(※構成比0.05%未満については、0.0%と表示しています。)

■一般会計当初予算の概要

予算編成に当たっては、第6次総合計画に掲げる将来像の実現に向けた「5本の施策の柱」に基づき取り組むこととし、一般会計予算総額は44億4500万円、前年度比3600万円減(0.8%減)となりました。

【歳入】

町税は、給与や事業所得増による個人町民税の増収見込みなどにより5億7153万円(前年度比314万円増)と見込み、緊急地震・津波対策交付金など県支出金2億9358万円(前年度比5667万円増)を計上し、不足する財源には財政調整基金などを取り崩すこととしました。

財源比率は、自主財源34.4%、依存財源65.6%となり、地方交付税など、国の施策による影響を受けやすい財政状況にあります。

【歳出】

「だれ一人取り残さない、支え合いのまちづくり」として、防災基盤である防災行政無線機器更新事業、町有施設(旧中小)改修事業を行います。

「だれもが夢を育み、実現できるまちづくり」として、児童生徒のGIGA第2期ICT教育のための小中学校情報機器購入により環境

整備を行います。

「地域に根付いた産業が育まれ、経済がにぎわうまちづくり」として、物価高騰対策のプレミアム商品券事業や引き続き伊豆まつぎ荘への民間活力導入調査の実施により地域経済活性化への取り組みを行います。

「豊かな社会・自然環境を次代へつなぐ、継続可能なまちづくり」として、海路整備に向けた松崎港客船等誘致事業(クルーズ船対応)や引き続き伏倉橋などの補修工事を行います。

「コンパクトを共有し、ぎょうどう」で進めるまちづくり」として、西伊豆町との一部事務組合により新斎場整備に向けた実施設計や造成工事などに取り組みます。

厳しい財政状況ですが、事業の効果・優先度を検討しながら取り組みます。

【問合せ】

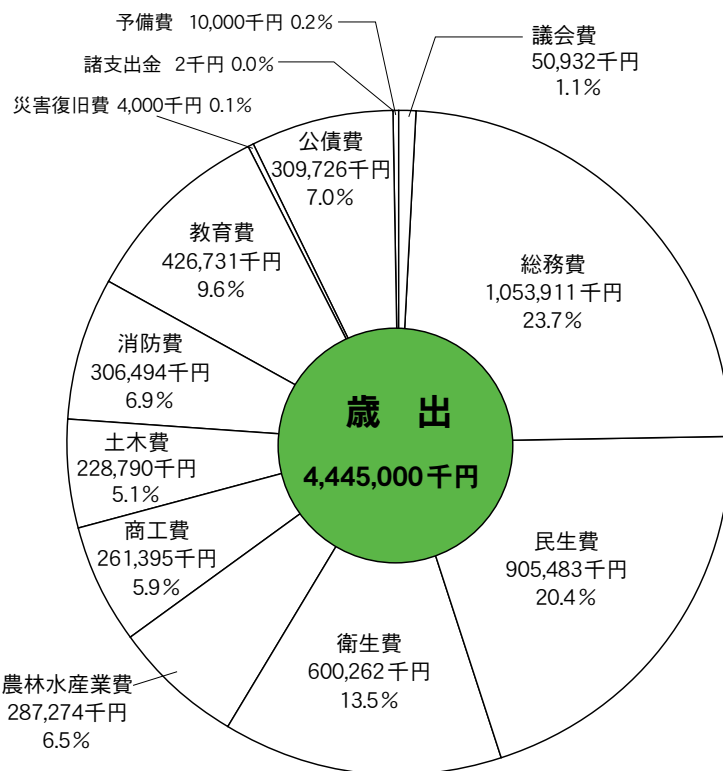
総務課(42) 3963

令和7年度 会計別予算額

総額 71億9,208万円

- ・一般会計・・・・・・・・・・44億4,500万円
- ・水道事業会計・・・・・・・・2億923万円
- ・温泉事業会計・・・・・・・・6,066万円
- ・伊豆まつぎき荘事業会計・・・・3億7,210万円
- ・岩地集落排水事業会計・・・・1,412万円
- ・石部集落排水事業会計・・・・1,147万円
- ・雲見集落排水事業会計・・・・3,893万円
- ・国民健康保険特別会計・・・・9億3,558万円
- ・介護保険特別会計・・・・9億5,900万円
- ・後期高齢者医療特別会計・・・・1億4,599万円

※金額は表示単位未満を四捨五入したものです。



一般会計 重点施策・新規事業等

(単位：万円)

事業名	事業費	事業概要	担当課
防災行政無線機器更新事業	9,790	メール配信などにかかる防災情報システムや操作卓などの機器更新	総務課
町有施設改修事業	1,488	旧中川小学校耐震補強・改修事業	総務課
若者のまちづくり支援補助金	60	海のピカ市 30 周年記念開催の規模拡大による補助など	企画観光課
松崎町商工会空き店舗活用補助金	50	古民家を観光資源とし、講師を招いたセミナー・イベント実施などへの補助	企画観光課
物価高騰対策プレミアム商品券事業補助金	3,700	物価高騰対策として 50%のプレミアムを付与した商品券の発行事業	企画観光課
松崎新港利用誘客事業	80	新港の活用に向けた「海釣り GO!」トライアルイベントの実施	企画観光課
町有施設民間活力導入調査事業	1,051	伊豆まつぎき荘への民間からの総支配人クラス派遣に係る民間運営会社の後方支援。町営観光施設改善検討。	企画観光課
松崎港客船等誘致委員会補助金	30	令和7年8月2日の松崎港への飛鳥Ⅱ 寄港に伴う歓迎式等費用補助金	企画観光課
法律相談事業	12	2カ月に1回（4枠）、弁護士による無料法律相談を実施	窓口税務課
西豆広域行政組合負担金	4,129	新斎場整備（実施設計委託、造成工事費など）に係る一部事務組合への負担金	窓口税務課
妊婦健康診査交通費等支援金	75	遠方の産科医療機関などで妊婦健診などにかかる交通費（5万円）支援	健康福祉課
带状疱疹ワクチン予防接種事業	410	带状疱疹ワクチンの定期予防接種の開始。対象者 65 歳、60 歳～64 歳の免疫機能障害者。 ただし、5年間は 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳以上。 (100 歳以上は R7 年度のみ)	健康福祉課
農業農村整備事業	1,950	農道伏倉山崎線の拡幅工事（R5～R8）	産業建設課
橋梁補修事業	6,200	伏倉橋（R6～R7）および入谷橋の補修工事	産業建設課
小中学校情報機器購入事業	2,103	一人一台端末更改（GIGA スクール構想第2期）	教育委員会
学校給食共同調理場厨房機器購入事業	6,512	新調理場にかかる厨房機器購入	教育委員会
地方創生人材支援（派遣）制度負担金	660	幼・小・中に ICT 支援員（1人）を派遣	教育委員会

令和7年度 町の助成・補助制度を紹介します

町民の皆さまが利用できる町の助成・補助制度の一部について、概要を紹介します。
事前に申請が必要となるものもありますので、担当課にご相談ください。

1 子育て支援

出産祝い金

▼対象

出生日を含め、1年以上連続して住民登録されていた期間がある、または登録する意思のある保護者に支給します。

▼支給金額

出産児1人につき10万円
(第3子以降は20万円)

▼申請方法

出生届の提出時に申請書を記入し、健康福祉課へ提出してください。

子育て支援祝い品

子どもが小学校、中学校へ入学するときや中学校を卒業するときに子育て支援祝い品として、松崎町ロマンシール協同組合が発行するロマンシール商品券(3万円分)を支給します。

▼申請方法

1月～3月に、申請書兼受領書を健康福祉課へ提出してください。

こども医療費助成

次の要件に全て該当する場合、保険給付の対象となる医療費と入院時食事療養費の自己負担分を助成します。

- ・高校3年生(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までのこどもの保護者であること
- ・こどもの住民票が松崎町にあること
- ・こどもが医療保険の対象者となっていること

妊婦健康診査交通費支援金

妊婦健診の通院などによる経済的な負担を軽減するため、令和7年度以降に妊娠された方、出産予定の方へ、交通費等支援金として5万円を支給します。

▼申請方法

妊娠届の提出時以降健康福祉課にて申請書を記入し、提出してください。

【問合せ】

健康福祉課(42)3966

2 防災

ブロック塀等

耐震改修促進事業補助金

▼ブロック塀等撤去事業

地震で倒壊の危険性のあるブロック塀などの撤去費用の3分の2(※単価あり、限度額10万円)を補助します。

なお、町が定める津波避難路沿いに限り10分の10(※単価あり、限度額なし)を補助します。

▼ブロック塀等改善事業

フェンスなどの安全な塀への造り替え、既存のブロック塀を金具などにより補強する工事費用の3分の2(※単価あり、限度額25万円)を補助します。

※いずれの事業も道路に面しているものに限りです。

家庭内家具等固定推進業

▼災害時要配慮者世帯(65歳以上の高齢者のみの世帯など)

町が委託した事業者により、家具を5品まで無料で固定します。事業実施期間になりましたら、広報や回覧などで希望者の募集をします。

対象経費の2分の1以内(限度額3万円)を補助します。

▼一般世帯

対象経費の2分の1以内(限度額3万円)を補助します。



感震ブレイカー設置事業費補助金

ある一定の地震の揺れを感知した際にブレイカーを落とすことで、地震の際に電気による火災を防ぐ効果が期待できます。

▼既存の住宅等に設置する場合

設置に必要な経費の3分の2以内(限度額2万5千円)

▼住宅を新築する場合

一律 1万円

※対象となる感震ブレイカーは(一社)日本配

線システム工業会の規定で定める構造および機能を有するものが対象で、コンセントタイプなどの簡易なものは対象外となります。

救命胴衣購入費補助金

津波や水害から自らの身を守るための救命胴衣の購入費用の一部を補助します。

▼対象者・要件

- ① 松崎町に住所を有し、かつ松崎町に居住している方
- ② 国土交通省の承認を受けた救命胴衣

※業務に使用するもの、釣りや水上バイクなどのレジャーに使用する目的に購入したものは対象外。

▼補助額など

- 1人につき1回（原則）
限度額2千円

【問合せ】

総務課（42）3963

3 住宅

浄化槽設置整備事業補助金

一般住宅（店舗や別荘は対象外）で、浄化槽に設置替えする場合または浄化槽を新設する場合に、設置に要する費用を表のとおり補助します。

※新設する場合は条件がありますので、担当課に確認してください。

補助金額一覧

区 分	設置替え	新 設
5人槽	414,000 円	332,000 円
7人槽	516,000 円	414,000 円
10人槽以上	684,000 円	548,000 円

住宅用太陽光発電システム

設置事業補助金

設置する太陽光発電システムの最大出力の値に5万

円を乗じて得た額（限度額20万円、千円未満の端数が生じた場合は切り捨て）を補助します。

【問合せ】

生活環境課（42）3969

住宅改修事業補助金

住宅改修に要する10万円以上の工事費（消費税額を除く）の20%に相当する額（限度額20万円、千円未満の端数が生じた場合は切り捨て）を補助します。

【問合せ】

企画観光課（42）3964

4 農業

有害獣等被害防止対策事業費補助金

農林産物の有害獣被害防止のため、電気柵や防護柵などを設置する場合に、材料費の2分の1以内（上限15万円）を補助します。

農業後継者対策奨励金

松崎町に住む50歳以下で、

新規に農業担い手を目指す意欲のある方で、要件を満たす場合に交付します。

奨励金額一覧

区分		奨励金額
後継者	単身者	240,000 円
	夫婦で従事	420,000 円
新規参入者	単身者	480,000 円
	夫婦で従事	840,000 円

※50歳以下の方が対象

【問合せ】

産業建設課（42）3965

5 環境・動物

飼い主のいない猫 不妊去勢手術費補助金

飼い主のいない猫の増加を防止するため、飼い主のいない猫に対して不妊手術または去勢手術を行う場合、手術費の一部を予算の範囲内で補助します。

▼メス

1匹につき不妊手術および耳カットに要する費用の2分の1以内の額と1万円を比較し、いずれか少ない額

▼オス

1匹につき、去勢手術および耳カットに要する費用の2分の1以内の額と6千円を比較し、いずれか少ない額

ゴミ減量化対策補助金

▼生ゴミ処理機

購入費の2分の1（限度額2万円）を補助します。

▼コンポスター

（生ゴミ処理容器）

購入費の4分の3（限度額4200円）を補助します。

【問合せ】

生活環境課（42）3969

軽自動車税（種別割）の減免について

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳の交付を受けている方が所有するなどの軽自動車で、一定の要件に該当する場合は、申請により軽自動車税（種別割）の減免が受けられます。

【受付期間】

4月21日（月）～

6月2日（月）

減免を受けるには申請が必要です。昨年度、減免を受けられた方には、4月中旬に減免申請書を送りますので、申請書を窓口税務課まで提出してください。

【対象車両】

次のいずれかに該当する車両に限ります。

①障害者（身体・知的・精神）および戦傷病者が所有する軽自動車

②知的障害者、精神障害者、18歳未満の身体障害者の場合、生計を共にする方が所有する軽自動車

③車いすの昇降装置や固定装置などを備えた、構造上専ら障害者が利用すると認められる軽自動車

※減免可能な台数は、普通自動車を含めて1人1台です。

【問合せ】

窓口税務課（軽自動車）

（42）3968

下田財務事務所（普通車）

（22）2018

西豆衛生フロント組合の名称が変わります。

西伊豆町と2町で構成する一部事務組合「西豆衛生フロント組合」の名称が、令和7年4月1日から「西豆広域行政組合」に変わります。同組合では、これまで、し尿処理施設の管理・運営に関する事務を共同処理してきましたが、4月以降は、西伊豆町と共同設置する新斎場の建設に関する事務を追加することになったため、併せて名称を変更するものです。

新斎場建設に係る主な事業

※これまで

《令和5年度》基本計画

《令和6年度》基本設計

※これから

《令和7年度》実施設計、

造成・解体工事

《令和8年度》建設工事

《令和9年度》供用開始

【問合せ】

窓口税務課（42）3968

地域交流通信

松本市安曇地区から

公民館講座「氷瀑した三本滝を目指そう」

3月4日、公民館講座「スノーシューを履き、氷瀑した三本滝を目指そう」を企画したところ、14人の方々が参加しました。当日は曇っていました、風もなく穏やかな日でした。準備運動をしていざ出発をしようとしたとき、前日の雨雪による倒木の影響でリフトが止まってしまい、ガイドさんからは「別の場所へ」との提案もありました。しかし、参加者皆さんの気持ちの一つで「何としても氷瀑した三本滝を見たい」との強い思いから、当初リフトに乗って上がる場所まで歩くことになりました。

スノーシューを履き、三本滝を目指して急斜面のグレンデを息を切らしながら歩き、三本滝レス

トハウスも通過して樹氷を眺めたり、凍った橋の上を恐る恐る渡ったりしながら辿りついた先には、この時期にしか見られない、氷結した滝が待っていました。自然がもたらすその美しさに疲れも忘れて見とれてしまいました。

三本滝は乗鞍岳の麓に位置し、日本の滝百選にも選ばれています。機会があれば松崎町の皆さまも、この絶景を見にぜひいらしてください。



▲三本滝中央の氷瀑

出張年金相談 のお知らせ

相談日

令和7年5月16日（金）
令和7年7月4日（金）
令和7年9月5日（金）
令和7年11月7日（金）
令和8年1月16日（金）
令和8年3月6日（金）

会場

環境改善センター
2階 研修室（1月の相談日のみ大会議室）

相談時間

午前9時～正午、午後1時～午後2時まで
※年金相談は予約制です。
事前に健康福祉課へ連絡し予約をしてください。

【問合せ】

三島年金事務所
055(973)1166
健康福祉課(42)3966

2030松崎プロジェクトだより

「まちづくり活動への参加で得られるもの」

2030松崎プロジェクト

ト活動への参加は、直接に

自分の収入などに結びつくものはありません。それぞれが自分の余暇の時間などを確保して、地域のため、社会のための活動をしています。こうしたボランティア的なまちづくり活動は、参加者にとつてどのような意味があるのでしょうか？

ハンナ・アーレントという哲学者は「人間の条件」という本の中で、ただ自己の生存のための活動としての「労働」に対し、社会や他人のために何かをつくり出していく「仕事」や「対話」などを、私たちが「人間らしい存在」になるための活動として評価しています。生命維持は、生物としての私たちにとても大切なことですが、それだけでは動物と同じです。まちづくり活動への参加は「労働」とは別の次元で、私たちが「人

間」として心豊かに存在する機会になるでしょう。

また「労働」は現在の生存を保証してくれますが「仕事」や「対話」には長期的な視点で人生を豊かにしてくれるという面があります。まちづくりに参加する中で、さまざまな人や情報、チャンスや経験に恵まれて、人生が発展することとがよくあります。目先の利益を目指さないからこそ、いわば副産物として自分では予期していなかった利益に恵まれるわけです。

地域や社会のための活動に参加することで、心豊かな人間らしい時間を持つことができ、長期的にはさまざまな利益に恵まれる。2030松崎プロジェクトの活動も、そんな機会の一つでありたいと思っています。

吉田寛（静岡大学）

【問合せ】

企画観光課(42)3964

地域おこし協力隊活動レポート

「令和7年3月末で退任される隊員」

Vol.32

【市川 瑛】

【尾崎 草苗】

昨年4月から、第一次産業の振興を図るため地域おこし協力隊員となり、

今年の3月末をもって、協力隊の任期を終えることとなりました。

普段は丸高T株式会社にて林業や農業活動に従事させていただきました。林業では、日に日に山が整備されていく景色を見てやりがいを感じました。

また、農業では柑橘類を育て、農家の方々の日々の努力、食べ物を大事に感謝する気持ちが芽生えました。

短い期間ではありましたが、誠にありがとうございました。

これから松崎町で新たなことに挑戦し、お世話になった皆さまに恩返しができるよう精進していきます。



▲林業に従事する市川隊員の作業の様子



▲移住に関する報告を行う尾崎隊員（後方右から2番目）

けんこう まっざき健康レシピ No.56

さつまいもとりんごのデザート



ーここがポイントー

★簡単な作業ですので、お子さまと一緒にわいわい作るのもおすすめです。

(1食当たり)

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
55kcal	0.4g	0.1g	14.2g	0.0g

ー材料(4人前)ー

さつまいも・・・1 / 2本
(約125g)

りんご・・・・・・1 / 4個
(50g)

砂糖・・・・・・大さじ1



▲保育園での食育かるたの様子

ー作り方ー

- ①さつまいもは1cm厚さの輪切りにして厚く皮をむき、水にさらしてあくを抜く。りんごは皮をむき1cmの角に切る。
- ②さつまいもは竹串がすっと通るまでゆでて湯を捨て、潰して砂糖を加えよく練る。そして、①のりんごを加え、全体を混ぜ合わせる。
- ③②を4等分し、それぞれラップで包んで茶巾に絞り、お皿に盛る。

★メンバー募集中★ ー松崎町けんこう食遊会ー

健康に過ごすための食生活を学び、町民の皆さまに広めるボランティア団体です。まずは、見学してみませんか？

【問合せ】 健康福祉課(42)3966

町長コラム 第40回

桜の花咲くふるさと

松崎町長 深澤 準弥

伊豆半島では、1月から桜の花が見られます。土肥桜、熱海桜、河津桜といった早咲きの桜から、

咲き、枝垂れ咲きなど、品種によって多様な咲き姿や色合いを楽しむことができます。

松崎町の染井吉野など、4月上旬まで春を目で見るができます。日本では、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラ、エドヒガン、チョウジザクラ、マメザクラ、タカネザクラ、ミヤマザクラ、クマノザクラの10種を基本にして、変種を合わせると100種以上の桜が自生しており、沖繩には野生化したカンヒザクラがあります。また、これらから育成された園芸品種は200以上もあり、一重咲きや華やかな八重

その中でも自分にとつての桜は、小さい頃から慣れ親しんできた染井吉野です。薄いピンク色が心癒やしてくれます。また、花が散ってから葉が出るため、満開の桜の木は目を見張るものがあります。開花期間が短いのが残念ですが、ある意味、その散り様には潔さを感じられる花です。また、武士道や大和魂といった日本人の精神文化も思わせてくれます。植樹してくださった先人たちに感謝しながら、愛でたいと思います。

My Town Topics ～まちのできごと～

桑葉スイーツ試食会



2月19日、浜丁で「桑葉スイーツ試食会」が開催されました。

これは、桑葉を使ったシュークリームやカヌレなどの新作スイーツを町の新たな特産品とすることを目的に松崎桑葉健康協議会が主催したイベントで、試食に参加した松崎小学生からは「苦味もあったが、甘すぎずおいしかった」などさまざまな意見が出ました。

「富士山の日」イベント 仲直り神事

2月23日の富士山の日、コノハナサキヤヒメとイワナガヒメの仲直りを祈願する仲直り神事が行われました。

松崎町は、平成24年2月23日に「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」を宣言して以降、毎年2月23日に仲直りの儀を執り行っており、今年は、当町とヒメの里交流都市である富士宮市の須藤秀忠市長にもご参加いただきました。



伊豆半島ジオパーククロゲイニング大会2025



3月2日、一般社団法人美しい伊豆創造センター主催の「伊豆半島ジオパーククロゲイニング大会2025」が松崎町・南伊豆町を舞台に開催されました。

大会は4時間コースと6時間コースに分かれて行われ、138人の方々が参加しました。

参加者は、上位入賞を目指し、制限時間により多くのチェックポイントを回ろうと、地図とコンパスを片手に町内を練り歩きました。

第41回松崎町文化協会芸能発表会

3月9日に、第41回松崎町文化協会芸能発表会が行われました。

今回は、松崎町のうた、ウェルネスまつぎき太極拳、おたまじゃくしの会など19組の団体が参加し、合唱や舞踏、太極拳といったさまざまな演目が行われました。

会場には、各団体の様子を見ようと多くの方々が訪れました。



町の人口と世帯

(令和7年2月28日現在)

() 内は前月比

総人口	5,620人	(-18人)
男	2,650人	(-6人)
女	2,970人	(-12人)
世帯数	2,821戸	(-3戸)
転入	2人	転出 9人
出生	0人	死亡 11人

戸籍(2月届出分)だより

お悔み申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出	人
宮内	井上 繁治	98	井上 久志	
南郷	鈴木 貞子	95	鈴木 芳紀	
江奈1	稲葉みち子	91	稲葉 駿一	
江奈3	鈴木 たけ	94	鈴木 秀男	
江奈2	加藤 米子	92	河合美智子	
北区	小嶋 親二	96	小嶋 和人	
伏倉	林 ちよ子	85	林 健 司	
山口	石川 義登	71	石川 源治	
南郷	土屋みゑ子	92	土屋 益男	

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。



町の交通事故

令和7年2月発生分

() 内は前年同月比

人身事故	1件	(±0)
物損事故	14件	(+8)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(±0)

【問合せ】
健康福祉課(42) 3966



山田 寧さん
(道部区)



谷口 稀虹さん
(野田区)

3歳児健診で「虫歯」がなかったお子さんをご紹介します。

ピカピカキッズ

【退職】 3月31日付け

窓口税務課長補佐兼納税係長

土田 克之

窓口税務課戸籍窓口係長

菅 恵理子

健康福祉課地域包括支援センター

土屋 初美

総務課総務係

土屋 ひかり

企画観光課商工観光係

石田 和也

窓口税務課納税係

相田 浩平

総務課総務係

石川 智己

企画観光課美しい村推進係

木村 圭太

教育委員会松崎海洋センター

影島 裕亮

【採用】 4月1日付け

鈴木 葉月

健康福祉課福祉係

磯部 結以

健康福祉課健康対策室兼保険年金係

真野 大地

窓口税務課納税係

土佐 真憲

教育委員会松崎海洋センター

堀内 一成

企画観光課参事

(民間企業からの派遣職員)

登坂 貴則

教育委員会事務局参事

(民間企業からの派遣職員)

【採用】 4月16日付け

野口 洋平

企画観光課参事(振興公社出向)

(民間企業からの派遣職員)

松崎文芸

— 短歌 —

平穏の伊豆の青き空北の雪住める人の苦

終りを希う

石田 安江

高齢者と言はれることは気にせぬが急に寒さが

身に沁みてくる

堀岡 洋子

ゆく秋に気づかぬやうに蚊は刺しぬこの身刺さなば

打たざるものを

平野 桂子

前へ進むいつばいづばの大変さ膝を悪くして

思ひ知らさる

杉山安紀子

広報まつしき

二〇二五年四月一日発行
通刊 第七三一號

〒410-1396 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎(五八)四二一三九六 〇五八四二一三三

発行 静岡県松崎町 編集 企画観光課
印刷 (有)山本印刷